



## TST Load Check TST ロードチェック

TSTコントロール技術を用いた  
ロードモニタリング



Time  
Steam  
Temperature

### 信頼できる滅菌管理を可能にするロードモニタリングシステム

TSTロードチェックは、空気除去・蒸気の浸透性に対して適切な負荷を有するバリアシステムと、滅菌工程の重要なパラメータに適切に反応するケミカルインジケータを組み合わせたロードモニタリングシステムです。

蒸気がコイル状チューブを伝い、空気が正常に除去された場合のみ末端のインジケータに届くよう設計されており、滅菌パック開封前に滅菌条件が達成されていることを簡単・確実に知ることができます。

インジケータシステムには、蒸気滅菌工程のモニタリングに利用できる高感度で正確なインジケータを採用しています。

TSTロードチェックを日常のモニタリング・ツールとして使用することで、滅菌物の払い出しをより確実に、自信をもって行えます。



## 特長

## ○ 安全なプラスチック製

本デバイスはプラスチック製カバーとフッ素樹脂チューブで構成されていますので金属に比べ素早く冷却され、より早く、より安全に取り扱うことができます。

## ○ 記録に便利なシールタイプ

インジケータの裏面はシール状になっているため、滅菌保証の記録が簡単です。

## ○ 確実なシールのためのストッパー

キャップにはストッパーがついていますので、締め方の過不足を防いで正しく密封し、結果の誤りを未然に防止できます。

## ○ 人間工学的で使いやすいデザイン

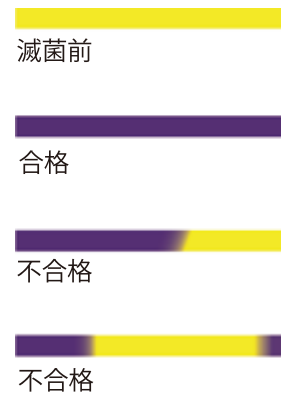
人間工学に基づいた握りやすいカバーと平らなキャップデザインの採用により、開閉が容易に行えます。

## ■ 使用方法

1. ロードチェックのデバイスが乾燥していることを確かめます。インジケータの黄色いインク部を内側にし、片側が2ミリほど長くなるようにして半分に折り、折った側からデバイスのキャップに挿入します。同じ長さには折ると取り出しにくく、片側が長すぎると蒸気の浸透を阻害するのでご注意ください。
2. ストッパーで止まるまで、キャップをデバイス本体にねじ込みます。
3. デバイスを滅菌バッグに入れてシールし、滅菌装置のチャンバ内の最も蒸気が届きにくい位置(通常はドレーン口の近く)に置きます。
4. 滅菌完了後、滅菌装置からデバイスを取り出します。デバイスは熱くなっていますのでご注意ください。
5. デバイスからキャップを外してインジケータを取り出し、変色を確認します。
6. 滅菌サイクルの判定結果として、インジケータを記録帳等に貼付します。インジケータは、使用前後とも冷暗所に保管してください。

## ■ 判定パターン例

※印刷のため実際の色調とは異なる場合があります。



商品名	型式	内容・入数
TST ロードチェック	134°C/3.5分	3783
TST ロードチェック	134°C/5.3分 121°C/15分	3778
TST ロードチェック	134°C/7.0分 121°C/20分	3779

※商品の色調は印刷のため実物と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
※製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

販売元 **サクラ精機株式会社**

感染制御事業本部 〒104-0033 東京都中央区新川1-25-12  
新川フロンティアビル  
☎03-3553-8034 FAX. 03-3553-8072

フリーダイヤル ☎0120-037-311

ホームページ <http://www.sakurajp.com>

製造元 アルバート・ブラウン社(英国)  
ホームページ <http://www.steris.com>